



2020年10月21日

株式会社野村総合研究所

野村総合研究所、米国市場にて Robert. W. Baird 向けに 外国証券バックオフィス業務ソリューションを提供開始

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、Refinitiv（旧トムソン・ロイター社ファイナンシャル・リスク事業、以下「Refinitiv」）を通じて、米国の金融機関 Robert W. Baird & Co. Incorporated（以下「Baird」）に対し、外国証券業務向けバックオフィスソリューション「I-STAR/GX」^{※1}の提供を開始しました。

NRI は、2019年10月から、I-STAR/GX を Refinitiv のバックオフィス業務向けソリューション「BETA システム」と組み合わせて Refinitiv の顧客に提供^{※2}しており、この度、新たに Baird への導入を行いました。

今回のシステム導入により、Baird では、昨今、取引量が拡大している外国証券について、海外カスタディアン^{※3}との SWIFT^{※4}接続から BETA システムへの記帳までの STP^{※5}、および決済ライフサイクルを通じたリアルタイムの日中取引ステータス照会を実現しました。これは、業務効率の改善やオペレーションリスクの低減に寄与し、コスト削減とともに取引規模拡大をバックオフィスから支えることにもつながります。

NRI は、今後も Refinitiv と連携して、グローバルに拡大する外国証券取引におけるバックオフィス業務のデジタル化を支援していきます。

※1 詳細は https://www.nri.com/jp/service/solution/fis/i_star_gx をご覧ください。

※2 詳細は https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/news/newsrelease/cc/2019/191029_1.pdf をご覧ください。

※3 カストディアン：証券の保管、管理を行う金融機関のことです。

※4 SWIFT：世界中で 200 以上の国家と地域で 11,000 以上の金融機関が利用する、資金決済、証券、財務、貿易に関する金融メッセージを送信するプラットフォームのことです。支払の実行あるいは決済のような共通した取引手続きを履行するために、構造化した電子メッセージによる相互接続が可能です。

※5 STP：Straight Through Processing の略。取引データ取り込み後、手作業無しにシステムで自動処理されることを指します。

【お知らせに関するお問い合わせ先】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 吉田、坂
TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社野村総合研究所 証券ソリューション事業本部 証券ホールセール事業推進部 横川、金子
TEL : 050-3187-0400 (I-STAR 総合受付) E-mail : nri-wholesale-sales@nri.co.jp

【ご参考】**■Robert W. Baird & Co. Incorporated の概要**

現地法人名	Robert W. Baird & Co. Incorporated
所在地	アメリカ合衆国ウィスコンシン州
設立	1919 年
代表	Steve Booth
主な業務	銀行業、証券業、資産運用業等
営業収益	2019 年 20.6 億ドル (約 2,270 億円)
預かり資産	2019 年 2,150 億ドル (約 24 兆円)
特徴その他	米国・ヨーロッパ・アジアなど世界各地に拠点をもち、資産管理、投資、資本市場 また未公開株に関連するサービスを提供している。また経済誌 Fortune が発表した 2020 年「最も働きがいのあるベスト企業 100 (100 Best Companies To Work For)」の 13 位にもランクインしている。